

開催主旨

日本アートマネジメント学会は、第15回目となる全国大会を九州にて開催します。第1日目はテレビ西日本との共同主催による記念フォーラム「地域の文化施設とアートツーリズム」(九州国立博物館ミュージアムホール)、第2日目は会場を九州大学大橋キャンパスに移しての研究発表会となります。

近年、各地の博物館、美術館、劇場、音楽堂など文化施設の在り方が大きく変わろうとしています。地域の文化資源の見直しや、官学民連携による地域振興につながる文化施設の事業企画や事業展開など、さまざまな魅力づくりのための取り組みが始まっています。

記念フォーラムでは「異なる施設間の連携」をキーワードに、文化施設の役割と方向性、さらにアートツーリズムの視点から、都市づくりに向けた文化施設の可能性を皆さまと共に考えます。

Cultural Facilities & Art Tourism in the Region

参加申込方法

12月7日 | 土 | 記念フォーラム

Eメールまたは郵便にて、下記宛て住所・氏名・年齢・性別・職業・参加希望人数(2名まで可)・昼間の連絡先(電話番号)を記載の上、お申込みください。応募多数の場合は抽選、当選者には入場整理券の発送をもって発表に代えさせていただきます。締め切りは11月15日(必着)

E-mail: jaam-forum @3pm-net.com

〒810-0041 福岡市中央区大名2-10-1 A棟407号 (韓スリーオクロック内) 記念フォーラム係

お問合せ: 092-732-1688



12月8日 | 日 | 研究発表会

Eメールまたは郵便にて必要事項を記載の上、お申し込みください。11月22日(金)締切

E-mail: jaam-ksb@design.kyushu-u.ac.jp

〒815-8540 福岡市南区塩原4-9-1 九州大学大学院芸術工学府 HME 研究室 尾本気付

日本アートマネジメント学会第15回全国大会実行委員会



登壇者紹介



岩淵 潤子 (いわぶち じゅんこ) AGROSPACIA 株式会社取締役・編集長、青山学院大学総合文化政策学部・客員教授

神奈川県生まれ。アメリカでの大学在学中の地元誌への投稿を皮切りに執筆活動を始め、イタリア留学中の1989年、朝日新聞社より『ニューヨーク午前0時 美術館は眠らない』を出版。帰国後、慶應義塾大学文学部に新設されたアートマネジメント講座の講師に。2000年、静岡文化芸術大学文化政策学部助教授(後に准教授)、2004年12月、慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構教授、2010年4月から2012年3月までは慶應義塾大学大学院・政策メディア研究科教授。著書に『億万長者の贈り物』、『美術館の誕生』ほか多数。独立行政法人国立美術館・博物館評価委員会委員を2001年から2008年まで務めたほか、東京芸術大学美術館・評議員、芸術選奨(芸術振興部門)推薦人、及び、選考委員などを歴任し、公職多数。



今村 芳晴 (いまむら よしはる) 福岡県立美術館館長

1949年生まれ。1972年西南学院大学経済学部卒業後、福岡県教育庁に勤務。福岡県教育庁教育企画部企画調整課企画監、福岡県教育庁総務部総務課長、福岡県教育庁教育振興部長、福岡県教育センター所長等を経て、2010年4月より現職。



錦織 亮介 (にしごり りょうすけ) 福岡市美術館館長

1943年生まれ。1967年九州大学文学部(美学美術史専攻)卒業後、長崎県美術博物館勤務を経て、九州大学文学部助手、北九州市立大学講師、同大学助教授、同大学教授を歴任し、2008年退官。現在は北九州市立大学名誉教授。2004年福岡市美術館協議会委員、2011年同美術館リニューアル協議会会長を経て、2012年4月より現職。専門は仏教美術。



西村 勇晴 (にしむら いさはる) 北九州市立美術館館長

1948年仙台市生まれ。小中高校生時代を北九州市門司区で過ごす。1973年東北大学文学部大学院(西洋美術史専攻)修了後、同年より北海道立近代美術館(1977年開館)、宮城県美術館(1981年開館)でそれぞれの開設準備時代から勤務。宮城県美術館学芸部長を経て、2009年同館副館長を退職。2010年4月より現職。専門はドイツと日本の近代美術交流史。



三輪 嘉六 (みわ かるく) 九州国立博物館館長

1938年岐阜県生まれ。奈良国立文化財研究所研究員、文化庁主任文化財調査官、東京国立文化財研究所修復技術部長、文化庁美術工芸課長、同文化財鑑査官、日本大学教授などを経て、2005年から現職。専門は考古学、文化財学。各地の文化財保護関係の委員に就任。NPO法人文化財保存支援機構理事長、NPO法人文化財夢工房理事長、元文化財保存修復学会会長、「読売あをによし賞」運営・選考委員など。著書に「日本馬具大観Ⅰ～Ⅳ巻」(編著)ほか論文多数。



安永 幸一 (やすなが こういち) 福岡アジア美術館顧問

1939年福岡市生まれ。九州大学文学部美学美術史専攻卒業。長崎県立美術館学芸員を皮切りに、福岡市教育委員会で福岡市美術館設立準備に携わる。その後、福岡市美術館学芸課長を経て、事業管理部長、副館長を歴任。1999年福岡アジア美術館館長就任。主な著書に「吉田博全木版画集」(共著)などの他、論文多数。その他、アジア各国の国際美術展コミッショナー、国際審査員などを歴任。

会場のご案内



九州国立博物館へのアクセス

- ◆西鉄を利用(西鉄福岡駅から約35分)
西鉄福岡駅発、西鉄二日市駅で太宰府線に乗り換え、西鉄太宰府駅下車後、徒歩で約10分
- ◆JRを利用(JR博多駅から約50分)
博多駅から鹿児島本線で二日市駅下車
①徒歩または西鉄バスで西鉄二日市駅へ、西鉄太宰府駅下車後、徒歩で約10分
②タクシーで九州国立博物館まで約15分
③西鉄バスで九州国立博物館まで約30分
(*1時間に1本運行)
- ◆九州自動車道を利用(約20分)
太宰府ICまたは筑紫野ICから九州大学大橋キャンパス交差点経由
- ◆福岡空港を利用
①地下鉄空港線で地下鉄博多駅下車後、JR博多駅へ、鹿児島本線に乗り換え(以降「JRを利用」参照)
②地下鉄空港線で天神駅下車後、西鉄福岡駅へ、西鉄天神大牟田線に乗り換え(以降「西鉄を利用」参照)
③タクシーで九州国立博物館まで約30分

九州大学芸術工学部へのアクセス

- ◆西鉄を利用(西鉄福岡駅から約15分)
西鉄福岡駅発、急行または各停で西鉄大橋駅下車、徒歩5分
- ◆JR博多駅を利用(約20～30分)
①地下鉄空港線で博多駅から天神駅へ(以降「西鉄を利用」参照)
②西鉄バス(B乗場)から47、48番で西鉄大橋駅下車、徒歩5分
- ◆九州自動車道を利用(約20～30分)
太宰府ICまたは筑紫野ICから九州大学大橋キャンパス交差点経由
- ◆福岡空港を利用(約25～40分)
①地下鉄空港線で天神駅下車後、徒歩で西鉄福岡駅へ(以降「西鉄を利用」参照)
②タクシーで芸術工学部まで約25分